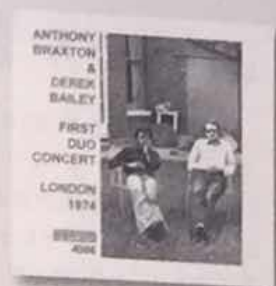


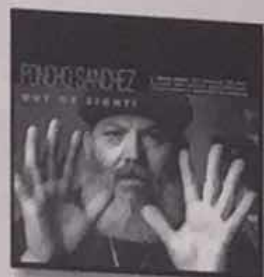
色褪せない
厳選の
再
発盤



First Duo Concert
A. BRAXTON & D. BAILE

没後10年になるデレク・ベイリー(g)と、今も精力的に活動しているアンソニー・ブラクストン(sax)との最初のデュオ演奏を収めた作品(1974年)。独自に開拓した奏法を互いに駆使しながら、一定の距離を保ちつつ緊密で豊かな音の連なりを創っている。40年の時を越えた高度に知的で思案的なフリージャズの名演だ。今秋再発。

(深堀) EMANEM / 10月 / 輸入



Out of Sight!
PONCHO SANCHEZ

ラテン・ジャズの人気パーカッションリスト、ポンチョ・サンチェスの2003年作品が180g重量盤アナログLPで復刻。ラテン・ミュージックの観点から聴くのが一般的だが、実は後期ブレスティッジばりの、まっ黒なジャズ・ファンク臭むんむんのグルーブ満載の傑作。ゲストのレイ・チャールズやフレッド・ウェズリー、ビリー・プレストンほか豪華メンツが、マジで素晴らしい。

(前泊) CONCORD / 9月 / 輸入



Fly With The Wind
McCOY TYNER

壮大なアンサンブルのイントロに思わず引いてしまいそうだが、次の瞬間、疾走するマッコイのピアノ、ワイルド極まりないビリー・コブハムのドラムス、ソウルフルなフルートと次々と繰り出されるスリリングな様相に快感を感じる。70年代にジャズ喫茶で大人気だったという本盤。今聴いてもかなりカッコいい。これを再発するニッチなセンスは超ナイス!

(深堀) UNIVERSAL / 9月 / 国内



Feelin's
TEDDY EDWARDS

どジャズ暗黒期の70年代、保守系最後の藝として奮戦したザナドゥ・レーベルはどの作品も粒揃い。一部の層からは“過去の人”というレッテルを貼られた自分達にスポットライトを当ててくれた心意気に奮い立たないミュージシャンはいなかったのだろう。本盤のエディ・エドワーズも静かに燃えているのが分かってなんだが嬉しい。ザナドゥの再発はどれも要チェック。

(永野) Xanadu / 10月 / 輸入



Les Ombres
COLIN VALLON

スイスのピアニスト、コリン・ヴァロンの2004年デビュー作品が初来日公演を記念して再発。ECMのコリンしか知らない私にとって、10年前の作品とはいえ、彼らの新たな一面を垣間見れた気分。隙のないECMサウンドもいけれど、多少荒削りでフレッシュな本作のほうが親しみやすい。カバーアートの大幅刷新が素晴らしい。

(佐藤) SONG X JAZZ / 10月 / 国内



- 深堀清次 福岡のジャズ専門店「キャットフィッシュレコード」、ジャズを愛する貧乏暇なし店主。
 永野敦史 ジャズリスナーズクラブ「MOONKS」唯一の関西メンバー。エヴァンスからジャズの世界へ。
 藤本サトシ 元タワーレコードのジャズ担当。ジャズと野球とサッカーを愛する三十路。
 中村 学 日本橋中古CD屋「レコードワン」店主。ロック〜ブルース〜ソウルからジャズにのめり込む。
 関 広美 ニューヨーク在住経験のある関西人。ビッグバンドからジャズを聴きはじめる。
 前泊正人 実は古い音源が好き。モノラルが大好き。ついにSPと蓄音器にまで手を出しました。
 早川公規 広島市のジャズ専門店「VENTO AZUL」店主。マイナーな作品の品揃えが充実。
 岡崎 凛 中欧ジャズに夢中になり、いい歳になってから音楽ライター目指した大阪人。
 佐藤敬太 大阪のとあるアパレルショップ店員。今の自分にフィットするジャズを求めて徘徊中。

※輸入盤の発売時期は店舗によって異なります。入手方法が分からない場合など、お気軽に編集部までお問い合わせください。